

日本 EU 学会
第 39 回(2018 年度)研究大会

共通論題

「ポピュリズムとリージョナル・アクターとしての EU」

2018 年 11 月 17 日(土)～18 日(日)

会 場: 獨協大学 (東棟 2 階)

住所: 〒340-0042 埼玉県草加市学園町 1 番 1 号
(東武スカイツリーライン「獨協大学前<草加松原>」)

連絡先: 獨協大学法学部 大藤紀子研究室

メールアドレス: ofuji*dokkyo.ac.jp

(*をアットマークに変更して下さい)

日本 EU 学会第 39 回(2018 年度)研究大会のご案内

日本 EU 学会理事長
岩田 健治

日本 EU 学会第 39 回(2018 年度)研究大会を下記の通り開催いたします。

ご多忙とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席下さいますようお願い申し上げます。

2018 年 9 月吉日

日 時: 2018 年 11 月 17 日(土)~18 日(日)

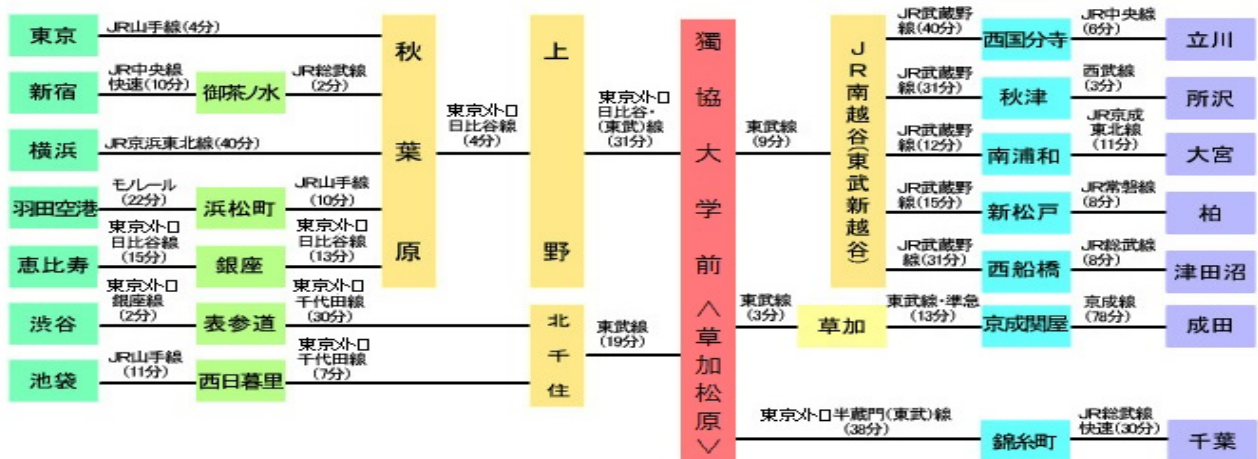
会 場: 獨協大学 (東棟 2 階)

アクセス: http://www.dokkyo.ac.jp/daigaku/a02_02_j.html

最寄駅:「獨協大学前<草加松原>」

(東京メトロ日比谷線・半蔵門線直通 東武スカイツリーライン)

西口より徒歩 10 分



※時間は平均所要時間です。乗り換え時間は含みません。



第1日 11月17日(土) 開場(受付開始) 12:00～

共通論題 「ポピュリズムとリージョナル・アクターとしての EU」		
理事会 <11:00～12:50>		
ポスターセッション展示<12:00～>(解説は11月18日)		
1. 全体セッション第I部 <13:00～15:40> 基調報告 40分(質疑なし) 基調報告以外の報告 各30分 質疑 10分		
報告者	論 題	司会者
(1) 小川 有美 (立教大学)	<small>バックスライディング</small> 【基調報告】統合の逆転か、危機による統合か? —ポピュリズム時代のEU—	渡邊 啓貴 (東京外国語大学)
(2) 田中 素香 (中央大学)	ポピュリズムと EU	
(3) 小森田 秋夫 (神奈川大学)	ポーランドの「司法改革」と欧州連合	
(4) 江島 晶子 (明治大学)	EUにおける立憲主義とポピュリズム - 多元性・非階層性・循環性のポテンシャル	
休憩 <15:40～16:00>		
総 会 <16:00～16:20> (注:時間帯が例年と異なります。)		
2. Plenary Session II <16:20～17:50> (in English) EU Delegation presentation – 15 minutes Guest presentation 30 minutes, Discussant 10 minutes, Discussion 35 minutes		
Presenters	Topics	Chairperson
(1) TBA (Delegation of the European Union to Japan)	TBA*	Yoichiro Usui (Niigata University of International and Information Studies)
(2) Miguel Maduro (European University Institute)	European Constitutionalism and Populism	
Discussion Discussant: Yoichiro Usui		
懇 親 会 <18:00～20:00>		

* 決まり次第、学会 HP にてお知らせします。

第2日 11月18日(日) 開場(受付開始) 9:30～

1. 分科会 <10:00～12:00> 報告時間各 30 分 質疑 10 分			
区分	報告者	論 題	司会者
A 共通論題	八十田 博人 (共立女子大学)	五つ星運動の欧州における主流化の可能性	八谷まち子 (九州大学)
	小林 剛也 (財務省主計局)	英国・ドイツにおけるポピュリズムの動向と EU 機関の役割・限界	
	今井 佐緒里 (ジャーナリスト)	Collective action －非正規移民労働者を守るための欧州市民の連帯と活動、および欧州委員会の役割	
B 経済 分科会	石田 周 (立教大学)	リテール銀行業の国際化と「金融サービス政策白書 2005-2010」－信用機関の「大口株式保有」に関する規制に着目して	松浦 一悦 (松山大学)
	土田 陽介 (三菱 UFJ R&C)	イタリアの銀行危機対応策の展開とその問題点	
	明田 ゆかり (オックスフォード大学セントアントニーズカレッジ欧州研究所)	リベラル貿易秩序の危機と日 EU・EPA : 「共通する価値の修辭から実践へ？」	
C 自由論題	中村 健史 (筑波大学)	EU の対ボスニア・ヘルツェゴビナ拡大政策における手段と論理の乖離	円居 総一 (日本大学)
	丸山 真弘 (電力中央研究所社会経済研究所)	欧州卸エネルギー市場における情報の公開に関する制度の成立	
	道満 治彦 (立教大学)	EU における再生可能エネルギー「優先接続」の進化－EU 電力指令・再生可能エネルギー指令と固定価格買取制度からの示唆－	
昼食・休憩／理事会 <12:00～13:30>			
ポスターセッション(報告者との質疑応答あり)<12:00～13:30> (掲示は大会中常時)			
佐竹 壮一郎 (同志社大学・院)	EU の正統性 — 有効性の向上から正統性の構築に向けて		
梅本 あすか (同志社大学・院)	PEGIDA と AfD の関係性についての考察		
総 会 <13:30～13:45>			

2. 全体セッション第Ⅲ部「ポピュリズムとリージョナル・アクターとしての EU」

<13:45～15:45>

獨協大学と共催(一般公開)

パネルディスカッション・報告時間各 10 分

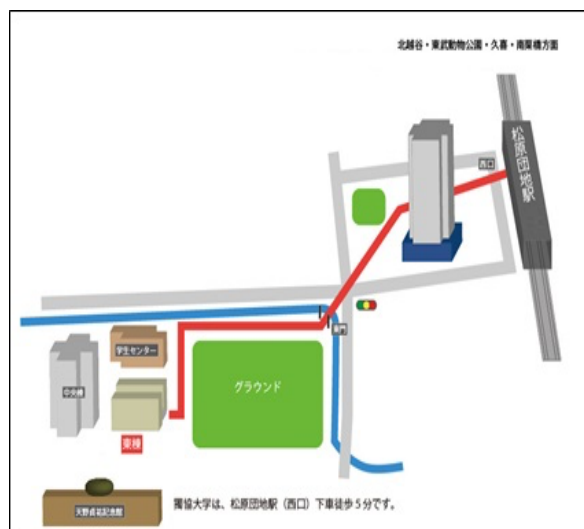
報告者	論題	司会者
(1) 板橋 拓己 (成蹊大学)	ドイツにおける右翼ポピュリスト政党の台頭とその歴史的意味	小川 有美 (立教大学)
(2) 吉田 徹 (北海道大学)	フランスの有権者はなぜ EU に背を向けるのか - 欧州懐疑主義台頭の原因	
(3) 伊藤 武 (東京大学)	現代イタリアにおけるポピュリスト政党の浮上と統合懐疑主義の政治空間	
(4) 村田奈々子 (東洋大学)	ギリシャ・ポピュリズムの帰結 - ユーロ危機後の SYRIZA 政権	
(5) 盛田 常夫 (立山研究所)	ハンガリーにおける民族主義とポピュリズムの特徴 - 左派ポピュリズムと右派ポピュリズム	

<会場のご案内>

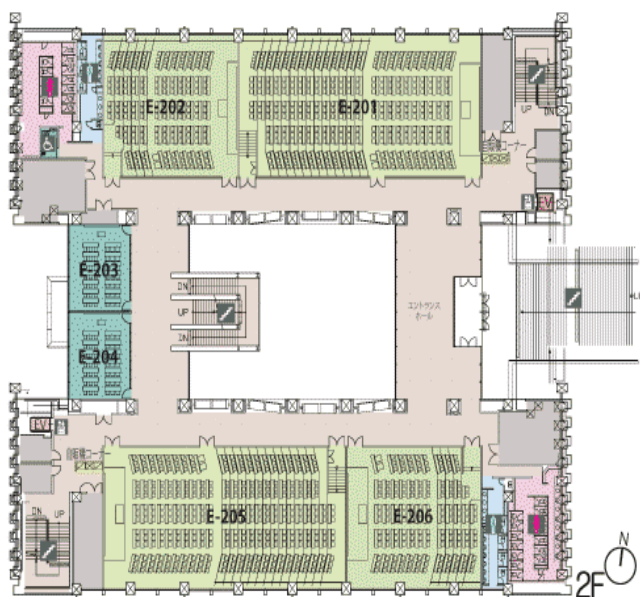
* 研究大会・理事会・懇親会は、いずれも獨協大学キャンパス内の 東棟 で開催致します。

キャンパスマップ(詳細版): http://www.dokkyo.ac.jp/daigaku/a02_03_j.html

駅西口から大学方面に向かい、下図右下表示の獨協さくら橋を渡り、大学東門に入りグラウンドを左手にプロムナードに沿って、東棟までお越しください。



(駅からは、徒歩 10 分は見てください。)
(上図の駅名は、獨協大学前(草加松原)に変更されています。)



東棟 (E棟) 2階 (左図)

受付: エントランスホール

研究大会:

E-201 (17日) 全体セッション I・II
(18日) A 共通論題
全体セッション III

E-205 (18日) B 経済分科会

E-206 (18日) C 自由論題

理事会: E-204

ポスターセッション: E-203

〔お知らせとお願い〕

<交通・宿泊>

* 交通手段や宿泊の手配は、ご自身でお願い致します。皆様には早めのご予約を強く推奨いたします。

<出欠のご返答と懇親会費の振込>

1. 出欠のご返答は、同封の出欠ハガキにご記入の上、10月31日(水)必着にてお願い申し上げます。
2. 第1日目の研究発表終了後、研究大会会場と同じ東棟 5階ラウンジにて懇親会を開きますので、ふるってご参加下さい。会費は、事前申し込みの場合は **5,000 円(当日参加の場合は 6,000 円)** です。
3. 第1日目の昼食は用意いたしませんので、キャンパス周辺または(東京メトロ日比谷線・半蔵門線直通)東武スカイツリーライン獨協大学前(草加松原)駅周辺の施設・レストランをご利用ください。第2日目は日曜日で、一部施設・レストランが通常営業をしておりますが決して数は多くありませんので、ご希望の会員にはお弁当を準備いたします。**1,000 円**を事前にお支払いください。お弁当は事前申し込みの方のみのご提供となります。
4. 懇親会費ならびに第2日目のお弁当代は、同封の振込用紙にてお支払い下さい。お振込みは、出欠ハガキと同様、10月31日(水)までにお願い致します。

<フルペーパーの入手方法>

報告のフルペーパーを研究大会の2週間前の 11月3日(土)から、大会終了1週間後の 11月24日(土)まで学会ホームページ(<http://www.eusa-japan.org>)に掲載し、会員がその間だけダウンロードできるように致します。

パスワードは会員宛に郵送された案内をご参照ください。

<その他注意事項>

懇親会および研究大会会場での貴重品等の管理には十分ご注意下さいますようお願い申し上げます。